

5 (月)	イエス様の伝道計画 - 従順と代任	6 (火)	イエス様の伝道計画 - 分与と持続的な点検
	マタ 11 章 29 節 わたしは心^{こころ}が柔和^{にやわ}でヘリくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負^おって、わたしから学^{まな}びなさい。そうすれば、たましいに安^{やす}らぎを得^えます。 神様^{かみさま}は Remnant を、ことばを伝^{つた}える人^{ひと}でなく、答^{こた}えを受け^うける証人^{しょうにん}として呼^よばれました。どのように証人^{しょうにん}の答^{こた}えを受け^うけることができるのでしょうか。 1 つ目^め、イエス様^{イエスさま}は「わたしについて来^きなさい」と言^いわれました。これは万王^{ばんおう}の王^{おう}である神様^{かみさま}に從順^{じゅうじゆん}にすることを意味^{いみ}します。イエス様^{イエスさま}が歩^{あゆ}まれた十字架^{じゆうじか}の道^{みち}を、自分^{じぶん}の十字架^{じゆうじか}を負^おって從順^{じゅうじゆん}にして行^いくのです。すると、地^ちでは百^{ひゃく}倍^{ばい}の恵^{めぐ}みを受け^うけて、神様^{かみさま}が与^{あた}えられる永遠^{えいえん}のいのちを受け^うけると言^いわれました。十字架^{じゆうじか}の力^{ちから}はすばらしい栄光^{えいこう}として現^{あらわ}れると言^いわれました。この栄光^{えいこう}のために神様^{かみさま}が要求^{ようきゆう}されることは、ただ從順^{じゅうじゆん}だけです。まことの真理^{しんり}であるキリスト^{きりす}を理解^{りかい}して、この真理^{しんり}を宣^のべ伝^{つた}えるのです。2 つ目^め、イエス様^{イエスさま}は私^{わたし}たちとともにおられるために、また福音^{ふくいん}を宣^のべ伝^{つた}えさせるために私^{わたし}たちを呼^よばれました。イエス様^{イエスさま}は、私^{わたし}たちに証人^{しょうにん}になることができるように*委任^{いにん}されたのです。そして、悪霊^{あくれい}を追い出す権威^{けんい}を与^{あた}えてくださいました。神様^{かみさま}は創造^{そうぞう}の神様^{かみさま}であり、すべてのことを予定^{よてい}されて治^{おさ}めておられます。それゆえ、現場^{げんば}には救^{すく}われることに定め^{さだ}められた人^{ひと}がいます。伝道^{でんどう}しても、友^{とも}だちが私^{わたし}がイエス様^{イエスさま}を信^{しん}じると、からかうこともあるでしょう。それは友^{とも}だちがイエス様^{イエスさま}を信^{しん}じている私^{わたし}の姿^{すがた}を確認^{かくにん}しているのです。それゆえ、揺^ゆれずにいれば良^よいのです。 Remnant は証人^{しょうにん}の答^{こた}えを受け^うけるように今^{いま}から祈^{いの}りで挑^{ちょう}戦^{せん}しましょう。 *委任^{いにん}：あること^{せきにん}の責任^おを負^{まか}せて任^{まか}せることを意味^{いみ}します。		ヨハ 20 章 21~22 節、マコ 8 章 17~21 節 イエスは再^{ふた}び彼^{かれ}らに言^いわれた。「平安^{へいあん}があなただがたにあるように。父^{ちち}がわたしを遣^{つか}わされたように、わたしもあなたがたを遣^{つか}わします。」(ヨハ 20:21) Remnant が知^しっておくべきイエス様^{イエスさま}の伝道^{でんどう}計画^{けいかく}があります。それは、分与^{ぶんよ}と持続^{じぞく}的な点検^{てんけん}です。この二^{ふた}つは何^{なん}なのでしょう。 1 つ目^め、イエス様^{イエスさま}は私^{わたし}たちに聖霊^{せいれい}を受け^うけなさいと言^いわれました。助け主^{たすけぬし}聖霊^{せいれい}は、私^{わたし}たちを守^{まも}り、悟^{さと}らせてくださり、教^{おし}えてくださると言^いわれました。そして、すべての信徒^{しんとう}と永遠^{えいえん}にとともにおられると言^いわれました。これが分与^{ぶんよ}です。イエス様^{イエスさま}は昇天^{しょうてん}されるときに「わたしが行^いくことは、あなたがたの益^{えき}になるのです」と言^いわれました。現場^{げんば}に行^いったり、苦^{くる}しいことにあつたとき、この事実^{じじつ}を確認^{かくにん}することができます。初代教会^{しのだいけい}は、この事実^{じじつ}を信^{しん}じて、聖霊^{せいれい}の働^{はたら}きを体験^{たいけん}しました。2 つ目^め、イエス様^{イエスさま}は続^{つづ}けて信仰^{しんこう}を点検^{てんけん}されました。伝道^{でんどう}すれば目^めに見える働^{はたら}きが起^おこるでしょう。イエス様^{イエスさま}は、それより、あなたがたの名^なが天^{てん}に書^かき記^きされていることを喜^{よろこ}びなさいと言^いわれました。そして、弟子^{でし}が現場^{げんば}で失敗^{しっぱい}したと思^{おも}っているとき、不信仰^{ふしんこう}に捕^とらわれたとき、まちがった確信^{かくしん}をしているとき、信仰^{しんこう}の点検^{てんけん}をされました。また、衝動^{しょうどう}的に怒^{いか}るときには、しかられました。Remnant には、助け主^{たすけぬし}聖霊^{せいれい}がともにおられ、イエス様^{イエスさま}がなさつたこの事^{こと}をされるのです。 いま私^{わたし}といつともにおられる聖霊^{せいれい}を確信^{かくしん}して、証人^{しょうにん}になるように祈^{いの}りましょう。
	神様 ^{かみさま} 、イエス様 ^{イエスさま} に從順 ^{じゅうじゆん} にして伝道 ^{でんどう} する証人 ^{しょうにん} の生活 ^{せいかつ} を送 ^{おく} りますように。生きておられるイエス・キリスト ^{イエス} の御名 ^{いのな} によってお祈 ^{いの} りします。アーメン		神様 ^{かみさま} 、分与 ^{ぶんよ} の意味 ^{いみ} を知 ^し って、私 ^{わたし} の信仰 ^{しんこう} をいつも点検 ^{てんけん} する Remnant になりますように。生きておられるイエス・キリスト ^{イエス} の御名 ^{いのな} によってお祈 ^{いの} りします。アーメン

ヨハ 15 章 16 節 あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命しました。それは、あなたがたが行って実を結び、その実が残るようになるため、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものをすべて、父が与えてくださるようになるためです。

Remnant は*再生産の祝福を味わいましょう。初代教会では、新しい家族を通して、続けてほかの人が生かされました。リディアとプリスカ夫婦、ヤソンを通して教会が建てられて、人々が癒やされました。これが再生産です。

1 つ目、聖書では再生産を実を結ぶことだと言っています。ぶどうの木は、ぶどうの木についていさえすれば実を結びます。イエス様はご自分について来れば人間をたとえ漁師にしてあげると言われました。神様が私とともにおられる WITH だけ味わえば、実を結びます。2 つ目、Remnant には、ほかの人を生かす答えが起きます。私とともにおられる神様は、私たちとも、ともにおられます。それゆえ、私たちの教会がともに再生産の答えを受けるのです。これが私たちとともにおられるインマヌエルの答えです。3 つ目、ローマ 8 章 26 節から 28 節を見れば、すべてのことがともに働いて益となると言われました。これが Oneness の答えです。聖霊は私の弱さをご存知なので、私のために聖霊ご自身がとりなして祈ってくださいと言われました。こんなこと、あんなことが見えませんが、すべてのことがともに働いて益となります。

初代教会が味わった再生産の祝福を受けるように祈りましょう。

*再生産：子どもを産むことをいう言葉であり、ここでは伝道の意味に解釈します。

神様、私を通してほかの人が生かされる再生産の祝福を味わえますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

イザ 60 章 1~22 節 「起きよ。輝け。まことに、あなたの光が来る。主の栄光があなたの上に輝く。見よ、闇が地をおおっている。暗黒が諸国の民を。しかし、あなたの上には主が輝き、主の栄光があなたの上に現れる。国々はあなたの光のうちを歩み、王たちはあなたの輝きに照らされて歩む。(1~3)

Remnant には、がっかりしたり、苦しいことが起こることもあります。学校でも、家でも、答えを受けることはできません。Remnant の今日が、光であるイエス・キリストを味わうキャンプになれば良いのです。それなら、Remnant に来る苦しみ、迫害、答えはどんなことなのでしょう。

1 つ目、Remnant にとって苦しみはキャンプの始まりです。イエス・キリストだけを語った初代教会は、異端だと濡れ衣を着せられて多くの苦しみがありました。しかし、それは苦しみではなく、まことの始まりでした。2 つ目、Remnant に迫害は必ずターニングポイントになります。迫害を避けて自分が願う道に走って行く人は、神様に用いられることはありません。しかし、神様のみこころを求めて待つ人は、神様の働きに最後まで用いられます。3 つ目、Remnant が受ける答えは全世界に福音が伝えられることです。多くの人は目に見えることのために祈ります。しかし、Remnant は神の国のことのために祈りましょう。聖書中の人物には、数多くの苦しみと迫害、そして答えがありました。苦しみの中で神様のみこころを質問するとき、神様が働きを始められます。

Remnant は今日から神様のみこころは何ですかと質問しましょう。

神様、すべての苦しみの中で神様のみこころを質問することができる力を与えてください。私の願うとおりに生きようとしないうように導いてください。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

イザ6章1〜13節 そこには、なお十分の一が残るが、それさえも焼き払われる。しかし、切り倒されたテレビンや榎の木のように、それらの間に切り株が残る。この切り株こそ、聖なる裔。」(13)

Remnant は行く所ごとに光のやぐらを建てましょう。神様はキリストの光を持っている Remnant を現場を生かす者として呼ばれました。それなら、フォーラムをして刻印する聖書の重要な流れは何でしょうか。

1つ目、神様はイザヤに、すべては消えて崩れても、切り株が残ると言われました。そして、レムナント運動を通して勝利すると言われました。これがレムナントの契約です。この契約を伝えてもらったダニエルは、どこでも心を定めて光のやぐらを建てました。2つ目、三人の青年は、主が救い出してくださなくても、偶像をおがむことはできないと信仰の告白をしました。エステルは、ユダヤ人がみんな殺されそうになった危機の中で、自分がユダヤ人であることを明らかにしました。3つ目、神様は歴史を通して Remnant に世界福音化を伝えておられます。イスラエルが奴隷、捕虜、属国になったことは、世界福音化のための正確な時刻表でした。この答えの中で、行く所ごとに光のやぐらと旅程、道しるべを建てる答えを受けました。神様はいつも信仰を選択する者を通して神様のことを成し遂げて行かれました。

Remnant は、Remnant 7人の信仰の告白が私の告白になるように祈りましょう。

神様、いつも信仰を選択して、行く所ごとに光のやぐらを建てる伝道者になりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

Ⅱ テモ2章1〜7節 ですから、私の子よ、キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい。多くの証人たちの前で私から聞いたことを、ほかの人にも教える力のある信頼できる人たちに委ねなさい。(1〜2)

Remnant は未来を準備する伝道弟子です。神様が Remnant を呼ばれた理由と、その答えを持ちましょう。この答えを持つてすることがあります。

1つ目、*既成世代の間違ったやぐらを癒やしましょう。神様を離れて私が中心となった考えと心、体質を持っていたら、答えを受けることができません。イエスがキリストという福音によって、神様のみことばで新しいやぐらが建てられるように祈りましょう。2つ目、教会の間違ったやぐらを癒やしましょう。間違った福音、ほかの福音ゆえに教会が門を閉ざして行っています。Remnant は、それを止める者です。救いの過越の祭り、聖霊の力の五旬節、神の国の背景の仮庵の祭りを正確に知って味わえば良いのです。そのために、三つの庭と金土日時代が必要です。3つ目、Remnant の間違ったやぐらを癒やしましょう。Remnant はヨセフのように傷をビジョンに変えるのです。神様の慰めの福音によって一番最初に霊的癒やしが起きれば良いのです。神様が私たちの土台になっておられることを知って、神様の力で生きて行きましょう。

Remnant は福音運動をすることができる種を持っています。毎日、神様のみことばと現場を置いて祈れば、必ず神様が作品を作ってくださいます。

*既成世代：現在の社会を導いていく年配の世代のことです。

神様、神様が私を呼ばれた理由を知って、未来を準備しますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン